

茨木市立障害者施設のあり方に関する検討会議 実施概要

本分科会から5名の委員の方々にご参加いただき、茨木市立障害者施設のあり方に関する検討会議を全3回実施し、ご意見を頂戴しました。

本市としては、頂戴したご意見を参考に次期指定管理者制度の継続を進めてまいりたいと存じますので、分科会委員の皆さまのご承認賜りますようお願いいたします。

1 検討会議の趣旨等について

(1) 市立障害者施設の指定管理の経過について

障害者就労支援センターかしの木園（昭和57年）、障害者生活支援センターともしび園（昭和63年）、障害福祉センターハートフル（平成8年）の3つの市立障害者施設は、平成25年4月から指定管理者制度を導入しており、平成30年4月からは、2期目の指定管理期間に入り、令和4年度末には現在の指定管理期間が満了となる。

(2) 本検討会議の役割について

指定管理者制度導入から10年が経過し、その間に障害者差別解消法や茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例など法令等が整備されてきている。

また、市内の障害福祉サービス事業所等の社会資源やニーズ等についても変化しているものと考えている。

引き続き、令和5年4月から3期目となる指定管理者制度を継続するにあたり、改めて、現時点における市立障害者施設として担うべき役割やニーズ等について、さまざまなお立場から意見を頂戴し、今後の各施設の方向性について、市として検討を行う。

2 検討会議メンバー等について

(1) 検討会議メンバー

氏名	団体名
中西会長	佛教大学 保健医療技術学部作業療法学科
富澤委員	大阪人間科学大学 社会福祉学科
山口委員	障害者地域自立支援協議会
宮林委員	茨木障害フォーラム
大川委員	発達障がいの子どもの将来を描く親の会あかね空

(2) オブザーバー

氏名	施設名
水野 園長	障害者就労支援センターかしの木園
植田 園長	障害者生活支援センターともしび園
原 所長	障害福祉センターハートフル

3 検討会議の日程等について

(1) 第1回検討会議

日時：令和3年10月29日（金曜日）午後2時から

場所：茨木市役所 南館3階 防災会議室

会議内容：市立障害者施設の概要等について

(2) 第2回検討会議

日時：令和3年11月19日（金曜日）午後3時から

場所：茨木市立障害福祉センターハートフル 4階 大会議室

会議内容：ハートフルに関する事

(3) 第3回検討会議

日時：令和3年12月27日（月曜日）午前10時から

場所：茨木市役所 南館8階 中会議室

会議内容：かしの木園、ともしび園に関する事

4 検討会議の概要について

別紙のとおり

検討会議の概要について

	障害者就労支援センターかしの木園 就労継続支援B型事業 自立訓練事業	障害者生活支援センターともしび園 生活介護事業 日帰りショートステイ事業	障害福祉センターハーハートフル 生活介護事業 地域活動支援センターII型事業 入浴サービス
現状実施しているサービス	B型事業の市内充足と、民間との差別化 「就労支援センター」として期待される役割	重度障害者の受け入れ機能による民間との差別化	貸館の利用対象者拡大 地活及び入浴サービスの利用者減についての検討
あり方検討の主なポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労を意識した役割を期待する（企業開拓・企業支援など、対障害者でなく対企業も含む）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを要する人や行動障害のある人など、他の事業所での受け入れが困難な人の受け皿としての機能を強化・継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・館の利用対象が広がること自体は悪くないが、それが障害のある人とならない人との交流につながるなど、障害福祉社にとってプラスになるものでなければならぬ。
あり方検討での主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の障害者就労支援の中心を担う施設として、他の事業所を束ねるような役割が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の大学の福祉系学部等の学生の力を活用し、重度な障害者のケアにあたる人材の充実を図る取組みを検討してほしい。 ・日帰りショートステイのニーズは高く、拡充などの検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単純な貸館として利用拡大をすることは適当でない。 ・II型や入浴サービスは、少なくともニーズのある必要なサービスであり、無くすことより活かす方法を考える方向が適当。